

普及活動情勢報告

情勢報告（平成28年4月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

環境制御技術普及促進事業にかかる機材説明会



4月11日に興津地区と窪川地区の2か所において、J A主催でメーカー6社による環境制御技術普及促進事業にかかる機材説明会を開催し、生産者18名が参加しました。本事業では、日射比例灌水装置や細霧装置が新たにメニューに加わりました。こうした新しい機材に対し「耐久性はどうか」など、熱心に質問する姿がみられました。また、普及所からは機材の導入に加え、機材導入を増収につなげるための研究会活動や個別指導を行っていることを紹介しました。

今後はより一層の普及拡大に取り組みます。

枝豆プロジェクトチーム会



4月20日、枝豆PT会を普及所会議室で開催し、生産者12名が参加しました。

普及所は、昨年度に実施した品種試験の収量・食味結果を基に、生産者の意見を踏まえて選定した品種‘湯あがり娘’の特性などの栽培講習を行いました。品種‘湯あがり娘’の栽培経験がある生産者からは、今年度の栽培計画に対する意見や、新たに栽培する4名の生産者へのアドバイスもいただきました。一方、新しい生産者からも積極的に枝豆栽培に関する意見・質問もあり、生産者間の意見交換もできました。

今後も普及所では、関係機関と協力して枝豆生産者への支援を行っていきます。

「農業塾」が開講しました



4月20日、J A四万十営農総合センターにおいて農業塾を開講し、受講生5名が参加しました。

普及所は、野菜栽培の基礎として植物の分類や生理について説明し、J Aは土壌診断や野菜を栽培しているほ場を案内してもらうなど、座学と現地視察を組み合わせた内容で実施しました。

参加者からは、現地で実際に作物を見ると良くわかるという声が聞かれました。

1年後には、受講生がJ A四万十みどり市に安定して野菜を出荷できるよう、J Aと連携して支援を行っていきます。

地域営農（影野小学校区）を考える世話人会



4月20日に、広域営農組織の設立に向けた世話人会（5集落の先導的な農業者で構成）が開催され、4集落から世話人4人が集まり、米の共同乾燥施設の整備に向けた検討が行われました。

普及所は、組織化を進めるためには共同利用施設の整備も必要であると考えているが、本年度にJ Aのカントリーエレベーターが改修されることもあり、地区のことだけではなく地域全体の米の在り方なども総合的に検討するよう促した。

今後も普及所では、町役場、J Aと協力して広域営農組織の設立に向け支援を行っていきます。